

シンポジウムⅡ

「地方創生・地方版総合戦略の成果と課題，次期戦略への展望」

日 時 2019 年 6 月 2 日 9:20－12:00

会 場 朱鷺メッセ 3 階 301 会場

パネリスト 宮澤 健太郎（新潟県知事政策局政策監兼政策課長）
渡邊 則道（長岡市地方創生推進部長）
夏井 智毅（聖籠町副町長）
宮下 量久（拓殖大学）

コーディネーター 鷺見 英司（新潟大学）

2015 年度から地方自治体が取り組んできた第 1 期「地方版総合戦略」は 2019 年度で最終年度を迎える。しかしながら、人口対策で十分な成果を上げられた市町村は多くない。国立社会保障・人口問題研究所の 2018 年の将来推計人口によれば、新潟県内でも 6 割の市町村で人口減少が加速し、「人口ビジョン」で設定された「目標人口」との乖離が大きくなった。このように、多くの市町村で、第 2 期総合戦略に向けて「人口ビジョン」の見直しと戦略の再構築が求められている。

本シンポジウムでは、新潟県と県内自治体の政策担当者と研究者が、第 1 期総合戦略の成果と課題を共有し、効果的な次期戦略の策定・遂行に向けた議論を行う。